

七日分

山田相古大綿千雨新中河肥上島依石小林庭  
本村眞澤井木田宮山原島後野田田谷田廣喜虎  
兵重顯行三確孫貞知良久平正一太久保三景  
義政郎土磨幹剛印亮誠奇庸義郎義謙郎一治

右任陸軍歩兵中尉

時事新報

外國貿易見ルニ忍ヒサルノ慘狀ヲ呈ス(昨日ノ續)  
 十四年度ハ生糸ノ下落ト銀貨ノ下落トナ以テ荷主問屋ノ  
 失敗ヲ致シ恰モ全國ノ生糸商人ナ一掃シテ其禍ヲ產系地  
 方ノ地主職工ニ及ホニ全國一般不景氣ノ一大原因ヲ釀シ  
 タルモノナレル退ク者アレバ逃ム者アルモ亦自然ノ數コ  
 メテ爰ニ又十五年度ノ新荷主ナ出現シタリ其種族ハ如何  
 ナル者ブト尋ルニ前年ノ敗軍ニ手疵ナ禁ルノ淺クシテ尙  
 餘産アル者ト數年前ニ生糸商賣ノ實地ニ臨ミ爾後久シク  
 中絶シタル者ト全ク新ニ事ナ企ル有志者ト此三種ナリ新  
 荷主ノ所算ニ謂ヘラク前年ノ失敗當局者ノハ氣ノ毒  
 ナレ由本年ハ前車ノ覆リタルニ懲リテ世間一樣ニ生糸ハ  
 軟價ナラン、製糸者ノ氣セ自カラ其鋒ヲ挫テ之ニ與スル  
 「易シ」横濱ノ方ハ不幸ノ幸、先人ノ失敗ナ般鑑トシテ自  
 他ノ敗軍ナ盛リ返シテ本年其反對ノ利ナ占ル者ハ吾々  
 ナラントナ貨中勝算ノ開拓既ニ成リテ乃ナ徐々ニ謀ナ運  
 フシ漸ク資金ヲ用意シテ年ノ八月ノ頃ロ仕入レニ着手  
 スルニ當ナ忽ナ朝鮮ノ變報ナ得タリ俄日本國中ノ物論皆  
 モ湧クガ如ク必大戰爭ニ及フヲナシトヘ普通ノ

時事新報

其身鬼神ニ悲サレハ眼前是貨ノ騰貴ヲ見テ其眼ヲ奪ハレ  
ザルヲ得ズ必身共ニ七十銭以上ノ相場中ニ恍惚トシテ八  
九月ノ際ヨ品物ヲ仕入レ當年ノ暮ニ至レバ云々來年ノ春  
ニ至レバ云々トテ金ナ手離シテ生糸ニ跨リ意氣揚々トシ  
テ仕入レノ事モ將サコ終ラントスル十月ニ至レバ何ゾ料  
フン朝鮮ノ事變ハ平穏ニ局ヲ結テ天下太平、横濱ノ株式  
取引所ニ於テモ銀貨ノ沸騰ハ恰モ冷水キ灌カレテ死シタ  
ル者ノ如ク八十銭ニ近キ相場ヘ平和ノ一報ナ以六十銭ニ  
下リ次第々々下落シテ本年一月ニ至テハ近來未曾有一  
圓二十八銭ノ聲ナ聞タノ反對症ニ發シタリ新荷主ノ連算  
困難吉ハズシテ明白ナリ其困難ハ十四年度ノ商人ニ比シ  
ア異同アルナシ即ナ今年今月生糸商人ガ正ニ苦痛最中ノ  
有様ナリト云フ

右所記ノ次第ニテ日本ノ生糸ニ關係シタル商人等ハ十四  
年度ノ災難ナ以テ之ナ一掃シ尙十五年ニ出現シタル者ア  
リシカニ是亦前年同様ノ始末ニア失敗ナ取り此失敗ハ正  
ニ前年ノ遺漏ナ拾ヒシモノニシテ今日ハ全國ノ生糸商ニ  
子爵ナシト云フモ過百ニ非ザル可シ畢竟其本ナ尋レハ政  
府ノ財物困難ニシテ不換紙幣ヲ發行シ其價格ノ不時ニ上  
下スルガ爲ニ商人等ハ商賣ノ利不利ヲ豫算スルニ當テ唯  
其名ト數トナ計ルノミニシテ利ノ實ナ期スルナ得ズ之ヲ  
譬ヘバ「ゴム」製ノ尺度ナ以テ物ノ長短ナ計ルガ如ク寒暑  
鍼中ニ水銀ノ昇降スルガ如クニシテ物ノ實形質量ハ依然  
タルモ「ゴム」ノ伸縮、溫度ノ増減ニ従テ隨時ニ實物ノ變化  
ナ報シ以テ意外ノ災難ナ招キタルモノナリ若シモ此ニケ  
年ニ於テ紙幣ノ昂低サヘナクハ商人ハ至當ノ利潤ナ得テ  
多少ニ其資產ヲ増シ又本年モ重テナ次第ニ進歩ス可キ筈  
ナルニ一年ニ之ヲ一掃シテ次年又其殘喘ナモ室塞セシメ  
タリ商賣何ニ苗ナ採ハシ工業何ニ由テ起ラン、當局本人  
ノ不幸ノミナラズ日本殖産ノ大災難ト云フ可シ、商人ニ  
罪ナシ通貨ニ商賣ヲ托シタル是レ其罪ナリト雖也苟モ商  
業ナ經營シテ通貿ナ用ルナカラントスルモ是レ亦難シ實  
ニ言語絶ヘタル不便利ナリト雖ニ今更紙幣ノ事ニ就テ俄  
ニ改正ノ良方便モアル司ラズ若シ又急劇ニ其策ヲ施サン  
トシタラバ却テ災害ナ增スノ意味モアル可ケレバ何レニ  
モ紙幣ノ始末ハ今ヨリ約束シテ漸次ニ之ヲ交換シ幾年ノ  
後ニ全ク事ヲ終ル等ノ策モアラント信ス是レハ他日ノ論  
トゾア爰ニ又空想乍ラ右二箇年引續テ生糸商ノ失敗ナ防  
テノ道ヲ素スルニ此不便利ナル最中ニモ日商人ノ中ニ異  
質素豪ナル者アリタラソノハ後悔ノ因難モ此度ニハ至ラ  
ブル可シト體ス其衣冠ト日本金融ニ生糸ノ產出凡シ七万

雜誌

○御内論　聖上ふへ畏くも過般福島縣下の暴徒其他各府  
縣下ふ於て些細の事件より一身を誤る者往々これ有るよと  
を聞し食させ給ひ痛く不憮よ思召させられ此程三條相國  
へ自今右等の儀は地方官よりて深く注意すべく様よど御  
内諭遊されざるや承へる

○鴉狩天覽　聖上より豫て記せし如く鴉狩天覽として昨  
十九日午前八時仮皇居御出門より内藤新宿の植物御苑へ  
臨幸在らせられ數々の水鳥を獲させ給ひ薄暮還幸遊をさ  
れたりと

○觀梅の御宴　岡島后宮には猶まだ昨十九日午後二時よ  
り御苑内の御茶屋寒香亭へ成らせられ觀梅の御宴を開か  
せられ御附女官の方々を始め宮内省文書御用掛等より和  
歌を詠進せられし由

○観書奉呈　今廿日午後二時我國駐劄の佛國特命全權公  
使アルナユール、トリーク氏より同國大統領より寄贈せら  
れし親書及び勳章等を奉呈し爲先赤坂仮皇居へ參内せら  
るゝよし

○岩倉石府　當今病氣篤甚中かて引籠り居らるゝ岩倉右  
大臣より退々全快に赴むるゝを以て昨十九日午前十時  
天機伺ひとして參内謁見を仰付すと同十一時退出せられ  
たりとす

○井上參照　岡島后宮より「昨日參國公使館へ赴かれ暫時  
公使と談話せられたる由なれど如何ある御用よや聞き漏